

小田代等地区人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
川内村	小田代・道ノ下・牛淵地区	令和4年3月4日	－

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	12.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	12.4 ha
③地区内における65歳以上の農業者の耕作面積の合計	9.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	9.3 ha
(備考) 地区での話し合いの中で基盤整備の要望が出された。	

2 対象地区の課題

地区内のほとんどの農家は高齢と後継者不足のため、農作業の大半を近隣地域で営農展開する2農業法人に委託している。また、ほ場区画が小区画若しくは未整備であり農作業の効率化が課題となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内農地の大部分は近隣地域で営農再開する2農業法人が受託（入作）している実態にあるため、この2法人を本地区の中心経営体に位置づけ、農地中間管理事業を活用し地区内農地を集約していくことを方針とする。（小田代、牛淵、道ノ下地区共通）

小田代等地区人・農地プラン

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの移行		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	(株) 緑里	水稻・エゴマ	0 ha	水稻・エゴマ	8. 5 ha	小田代・牛淵
認農法	(農事) アグリ	ソバ	0 ha	ソバ	0. 8 ha	道ノ下・牛淵
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	人		0 ha		9. 3 ha	

注1：「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2：「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状から概ね5年から10年後の意向を記載します。

注3：「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

農地の貸付け等の意向

	農地の所有者 農地の所在（地番・面積）	貸付け等の区分（㎡）		
		貸付け	作業委託	売渡
1	H. S	17,389	—	—
2	S. S	13,749	—	—
3	I. S 他1名	15,217	—	—
4	I. S	362	—	—
5	S. K	11,896	—	—
6	K. S	7,940	—	—
7	S. T	3,257	—	—
8	S. H	11,203	—	—
9	K. M 他4名	2,466	—	—
10	N. Y	2,958	—	—
11	K. I	2,423	—	—
12	S. S	2,045	—	—
13	S. M	1,575	—	—
14	S. T	604	—	—
	計	93,084		